

## 第4回総長選考・監察会議議事録

1. 開催日時：令和4年9月16日（金）14：00～16：00
2. 方法：オンライン会議（Zoom）
3. 出席委員：岩田、国谷、板東、森田、山本、須田、山内、岡部、城山、森、杉山、河村 各委員
4. 陪席：吉田監事、棚橋監事
5. 議題
  1. 総長の賞与に係る職務実績評価について
    - （1）総長による実績評価 自己評価書の説明
    - （2）自己評価書についての意見交換
    - （3）次回に向けた意見交換
  2. 現況の総長の執行状況についての意見交換
  3. 職務実績 自己評価書等の取扱いについて
  4. その他
6. 配布資料
  1. 東京大学総長選考・監察会議の運営に関する了解事項（令和4年3月16日総長選考会議承認）
  2. 総長の賞与に係る職務実績評価の実施について（通知）（令和4年7月11日）
  - 3-1. 総長の賞与に係る職務実績 自己評価書
  - 3-2. エビデンス資料 UTokyo Compass
  4. 総長の賞与に係る職務実績評価スケジュール・イメージ
  5. 総長の賞与に係る職務実績の評価について（令和4年3月24日）
  6. 東京大学総長選考・監察会議議長所信表明（議長就任にあたって）
  7. 第3回総長選考・監察会議議事要旨（案）
7. 議事

【岩田議長】 定刻になりましたので、ただいまから、総長選考・監察会議、第4回を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席下さり誠にありがとうございます。事務局より、本日の委員の出席状況等の連絡事項の確認をお願いいたします。

【事務局】 事務局でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、12名の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、定足数を満たしております。なお、C委員、D委員、E委員、F委員におかれましては、本日はご欠席となっております。また、本日も都合により途中からの参加となる委員もいらっしゃる旨伺っております。

次に陪席についてでございますが、A監事、B監事、総務部長、人事部長、法務課長、本部法務課法規チームが陪席をさせていただきます。

続きまして、本日は傍聴者の方はいません。

次に配布資料の確認について、本日の資料は、PDFでお送りさせていただきます。次第をご覧ください。まず議事次第に記載の配布資料と、つい先ほどお送りさせていただきました総長のプレゼンの資料でございます。それから、いつもの席上配置資料が1点ございます。

次に、議事の記録、公開について、東京大学総長選考・監察会議の運営に関する了解事項に基づき、本日の議事の記録については録音並びに書面による議事要旨及び議事録といたします。公開につきましては、本日は「人事に関する意見交換を行う議事」に該当する議事がございますので、これらの議事録及び録音による記録は非公開といたします。ただし、当該資料の取り扱いについては、同了解事項の2(2)に基づき、議題3において委員の皆様にご検討いただきたいと思います。なお、公開すべき議事につきましては、東京大学ホームページの総長選考・監察会議ページに本会議終了後に公開いたします。

本日はウェブ開催とさせていただきます。ご発言時以外はマイクをオフ、ご発言の際は挙手ボタンを押していただき、議長からの指名の後にマイクをオンにしてご発言をお願いいたします。なお、会議の中でご発言をいただく際はお名前をお伝えいただき、その後にご発言をお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

## ■議題1「総長の賞与に係る職務実績評価について」(1)(2)の議事のため非公開

【岩田議長】 それでは、議題の2に進みたいと思いますが、「現況の総長の執行状況についての意見交換」。これは、今年度からこの会議に「監察」という名前が追加になったように、当会議の新しい任務なのですけれども、総長の業務執行状況について当会議が恒常的に確認をさせていただくというプロセスでございます。

先ほどの議題では令和3年度分についてお伺いしたのですけれども、今回は4月以降の今年度の状況について総長からお話を伺いたしたいと思います。

【総長】 お手元に、執行状況についてというパワポの資料があるかと思うのですけれど

も、ご覧いただけますでしょうか。私のほうは絵をお見せしながらお話したいと思うのですが、体制整備関係では、先ほど申しましたように経営力をしっかり確立するという意味で、財務経営本部、法務本部、内部監査室の設置を4月1日付で行っています。

そして、GXを推進するために、GX推進分科会を未来社会協創推進本部の中に設置をしまして、各タスクフォースとこれをつなぐ形でGXの体制を整えたところです。

また、新しい大学モデル構想会議を設置しています。いわゆる大学ファンド、今10兆円ファンドと言われていますが、それに対するワーキンググループを前年度につくって、検討を進めていました。結論としては、東京大学がUTokyo Compassに記載している新しい大学モデルをみずからしっかりつくることをまずはやるのが適当であろうということで、新しい大学モデル構想会議を設置して、今動かしているところであります。

DX本部も同時につくっています。そこまでが組織体制整備関係です。

ダイバーシティ&インクルージョンにつきましては、ダイバーシティ&インクルージョン宣言を6月23日に発出いたしました。後ほどご質問があれば、具体的に絵をお見せしたいと思います。その後D&Iキャンペーンという、全学的にD&Iを進めるキャンペーンの一環として、例えば私のバックもそうなのですが、Zoomの背景を用意する、外部の方に応援メッセージを書いていただいて、ホームページに順次掲載するというようなことを行っています。

先ほど申しました女性人事加速サポートプログラムでは、例えば一つのポストを配分するプログラムでいいますと、従来比で倍増、3億から4億/年の規模でのプログラムを立ち上げたところです。

それから、30%Clubです。特に産業界で意思決定層の女性を30%以上にするという世界的な30%Clubという動きがあって、その日本のものに加盟しているのですが、そこにある大学WGチェアを今年から仰せつかっております。学外の大学のあるグループにおいても私たちがリードする形で、産業界と一緒に女性活躍を推進するというところを始めたところです。全体のチェアはGさんが務めておられます。

研究関係は、非常に重要な、ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点という公募がかかり、無事フラッグシップ拠点として採択されました。100 days missionという、アウトブレイクが起きたときに試作品であっても100日以内にワクチンが供給できる体制をいかにつくるかということで、国のほうではSCARDAという司令塔をつくり、それとの連携でワクチン開発全体を動かしていくことになっているわけですが、そのアカデミアとしての中心的な拠点を東京大学につくることが決定しております。

2枚目に行きます。土地、不動産関係でありますけれども、一つは柏キャンパスの土地取得。これは実は前総長のときの3月の最後に土地取得が完了しまして、その報告会を7月の初めに開催しました。柏キャンパスの全ての土地が東京大学のものになったということです。

隣接地につきましては、それも3月頃に取得の契約をしていたものがあつたのですけれ

ども、なかなか引き渡しが起こらないということで、結果としては私たちの判断で契約解除をいたしました。契約解除に伴って、東京大学としては、出していた金額プラスアルファが戻ってくるという形になりましたので、そういう意味では難なきを得たというところ  
です。

また、キャンパスエリア構想の策定を進めています。文京区との間で、東京大学のいろいろな今後の新しい建築の計画を進める上で 22 メートルという高さ制限があり、これがいつもひっかかるところで、都市計画を変えていただかないといけないということがありました。それについて文京区長さんからは、そうであれば東京大学が地域の住民の皆さん、それから文京区とも一緒にこれを考えていくという形にしてくださいとおっしゃっていただきまして、担当副学長を中心にキャンパスエリア構想をつくり、区長に7月にお渡しをしたところです。今後、文京区で都市計画の新しい策定が進むと、東京大学のキャンパスの開発もスムーズに行えるようになる。これも非常に大きい一歩であると考えています。

それから、産学協創のパートナーでもあります三井不動産がオープンしたミッドタウン八重洲に、東京大学がアカデミックコモンズという形で大きな教室一つ分ぐらいのスペースを確保しました。先ほど述べましたスマートシティスクールは、そこでこの10月から行う運びになっております。実際の全体の開業は来年の3月なのですけれども、今後このアカデミックコモンズでは、東大だけではなく他大学にもお声がけして、一緒にいろいろなアクティビティをやっていただく、そんな場にできればと思っております。いわゆる都心のサテライトとして東京大学としては活用していきたいところです。

これが土地、不動産関係です。

最後は海外関係です。

一つはフィンランドとの連携で、5月にフィンランドの Sanna Marin 首相がいらっしゃったときに、5G/6G の関係のセミナーを一緒に行いました。その後、中心的な大学であるオウル大学の学長もいらっしゃり、東京大学とオウル大学で5G/6G の分野について、産業界も含めて連携を大きくしていければいいですねという話をしているところです。

そのほか、IARU 学長会議出席、PSL の学長や College de France の訪問、スウェーデンにおける Karolinska Institutet への研究拠点設置の交渉、あるいは Stockholm Trio という戦略的パートナーシップ協定の更新など、欧州に2週間ほど出かけておりました。

もう一つ申し上げておいたほうがいいと思いますのは、アメリカです。ニューヨークオフィスがやっと去年から使えるようになり、私も長らく行けていなかったのですが、この7月に行ってまいりました。そのときの目的はニューヨークオフィス以外にも、IBM の T. J. Watson に行って、量子関係、それからハイパフォーマンスコンピューティング、最先端の半導体にかかわる連携についてお話しするということがございました。非常に重要な協創パートナーです。

ニューヨークでは、Governors Island に Climate Solutions Center というものをつく

ってくださいというコールがかかっております。これは Northeastern 大学と一緒に作ったコンソーシアムのプロポーザルです。Equitable Climate Solutions のセンターをつくるということで、パートナーが 16 あり、Woods Hole Oceanographic Institution や Imperial College などが入っています。Northeastern がリードですけれども、こういった Institution が入ったチームとなっています。

ファイナリストは3グループなのですが、ちょうどこの月曜にプレゼンテーションを行いました。今後進展があればご報告したいと思います。

私からは以上です。

【岩田議長】 ありがとうございます。総長、予定の時間が過ぎているのですが、一つ二つ、もしご質問があればお受けいただくことはできますか。

【総長】 はい。

【岩田議長】 よろしいでしょうか。それでは、今年度に入ってから業務執行状況を今お伺いいたしましたけれども、ご質問、ご意見おありの方お願いいたします。——A 委員 お願いします。

【A 委員】 総長のご活躍の様子を伺うことができましたと思います。

東京大学について今年度に入ってのご報告もあったのですが、1点触れられていなかったかなといいたいでしょうか、順調に進行しているからかもしれませんけれども、教育についてはいかがでございましょうか。この点については、先ほども含めてあまりお触れにならなかったのではないかなというふうに思っております、そのあたりについて一言聞かせていただければと思います。以上です。

【総長】 ありがとうございます。教育については大きくは二つのことを進めています。

先ほど少しご説明しましたが、地球規模課題についてはみんなで考えるべきで、それぞれの専門の部署、専門の場にありながらそういうものに取り組める人を育てるということです。GX を先導する人材を育てる SPRING GX が、現在立ち上がって動いています。

もう一つは、学生たちに実際の現場、例えばビジネスの現場や研究の現場をしっかりと経験、体験してほしいということです。インターンシップ、体験活動、フィールドスタディが、昨年度はコロナでとまっていたのですが今年からは動き始めまして、学生たちは順調にそういうプログラムに参加し、現場に行き行って体験、経験をしています。他には、例えば産学協創のパートナーであるダイキン工業さんがグローバルインターンシップというプログラムと一緒にやっています。先月8月には、アメリカの何カ所かに行っていた学生たちが最終的にニューヨークオフィスで発表会を行いました。産業界や社会人の皆さんに見ていただき、質疑応答をして、非常に充実した会だったと聞いております。

この二つのことについては積極的に今後も進めてまいりたいと考えております。

【A 委員】 ありがとうございます。

【岩田議長】 ほかにいかがでしょうか。——よろしいですか。

それでは、ここで区切りとしたいと思います。総長におかれましては、本当にお忙しい

中お時間をとっていただき、今日はありがとうございました。【総長】 こちらこそありがとうございました。

【岩田議長】 失礼いたします。

【総長】 では、失礼します。

【岩田議長】 それでは次に進みたいと思いますが、先ほど申し上げましたように、議事の1の(3)は、これまでの総長のお話などを含めて、私たち自身の評価をどうするかということの予備的な討議を一番最後にしたいと思っております。

今議事の2が終わりましたので、議事の3です。これはちょっと手続的なことなんですけれども、確認させていただきたいことがあります。それは、自己評価書など今回の人事に関する一連の資料の取り扱いについてなんですけれども、当会議の運営に関する了解事項という資料1をご覧いただきたいと思うんですけれども。資料1の了解事項の2の(1)あるいは(2)、このあたりについてです。

(1)は、ここで書かれていることについては、(1)のただし書きのところ。「人事に関する意見交換を行う議事の議事録は非公開とし」と書いてあるんですけれども、このときにもう少し明確に書けばよかったのかもしれないけれども、関連する配布資料の扱いをどうするかということはこの了解事項には書いてありません。

したがって一般の資料と同じ取り扱いになるのですが、このただし書きには、それ以外の議事録及び配布資料についても全部またはその一部を公開することが適当でないというふうに当会議が議決したときには非公開とすることができる。ですから、今日のご提案は、先ほどの議題に関連する資料は、人事の案件に関する資料は非公開としたいというふうにお諮りしたいのですが、非公開とするためには当会議の議決が要るわけですから、そこでお諮りをいたしたい。

そして、了解事項の2の(2)に書いてありますように、公開しないこととする場合には、会議の了承を経た上で、その理由をあわせて公開する。なぜ非公開とするかということの理由を公開しないといけないということになっておりますので、皆様に確認をさせていただきたいと思っております。

私から提案したいと思っておりますのは、本日の議題の1に関する資料です。総長の自己評価資料とそれに関連するエビデンス資料、そして今日直前になって追加になりました総長のプレゼン資料、いずれもどの部分を公開にする、どの部分を非公開にするというのはまたなかなか厄介なことがありますので、この資料全体を非公開としたいというご提案ですが、それでよろしいかどうかということなんです。いかがでしょうか、よろしいでしょうか。

【A委員】 よろしいと思っております。

【岩田議長】 A委員にそう言っていただくと本当に心強くなります。それでは、非公開といたします。

非公開とする理由を開示しないといけないわけなんですけれども、この理由は簡単に、人事に関する意見交換を行う議事に関する資料である、このような理由で非公開としたいと思

いますが、よろしいでしょうか。——それでは、そのように取り扱いをしたいと思えます。  
ありがとうございました。

それでは、議事の4の「その他」でございます。これも了解事項の5の(2)というところをご覧いただきたいのですが、議長の行動指針というところですが、(2)で「議長の選出後、議長自身に所信表明を求め、それを公表するものとする」となっておりますので、過日所信表明をつくらせていただいて、7月15日だったんですが、ホームページ内の総長選考・監察会議のページに公表いたしました。参考までに資料6として配布をさせていただいておりますので、ご報告いたします。そこにも書かせていただきましたけれども、議長としまして、中立・公正な議事運営と活発な議論になりますように最善を尽くしたいと思えますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたしたいと思えます。

「その他」について、それ以外にもう1件ございまして、事務局のほうからお願いいたします。

**【事務局】** 事務局からは、メール審議の方法についての確認をさせていただきます。

前回メール審議をさせていただいたところではありますが、既に委員の皆様には前回の議事要旨もご確認いただいておりますけれども、監事よりメール審議の方法についてご指摘をいただきました。内容としては、前回のメール審議において、本学経営協議会のメール審議の方法に倣い、ご異議がない場合はご了承いただいたものとみなすというふうにさせていただきましたが、事前にこの方法について委員の皆様よりご承認をいただくことが望ましかったというものです。

今後もメール審議を行う可能性もございまして、今後は、ご異議がない場合はご了承いただいたものとみなすではなく、お手数をおかけしますが、皆様全員から審議事項についての可否のご回答をいただくこととしたいと思えます。皆様よろしいでしょうか。——ありがとうございます。

また、本日の資料7は前回のメール審議の議事要旨ですが、既にご確認はいただいておりますが、改めまして、内容等よろしいでしょうか。——ありがとうございます。

事務局からは以上となります。

#### ■議題1「総長の賞与に係る職務実績評価について」(3)の議事のため非公開

**【事務局】** 事務局でございます。それでは、次回の開催は11月18日金曜日14時から16時まで、現時点では同日に開催予定の経営協議会が対面による開催を予定しておりますので、本会議も対面で予定しております。場所は安田講堂内の会議室を予定しております。コロナの状況次第ではオンライン開催に切りかえる可能性もございまして、皆様へはまた改めてご連絡をさせていただきます。本日はありがとうございました。

監事、本日の議事進行について何かございますでしょうか。

【岩田議長】 よろしく願いいたします。

【B 監事】 皆様お疲れさまです。A 監事はちょっと出てしまいましたけれども、私のほうからコメントございませんので。先ほどの了解事項のところは、もしかしたらどこかで修正したほうが、今後一つ一つ確認をとるよりも、人事の話は必ず出てくるので、変えてしまったほうがいいかなと思いましたが、それは皆様方でお決めいただければと思います。よろしく願いします。

【岩田議長】 ありがとうございます。ほかにも修正事項が出てくる可能性もありますので。

【B 監事】 一括してですね。

【岩田議長】 はい。あるタイミングで修正したいと思います。

【事務局】 承知いたしました。A 監事には私のほうから確認をさせていただきます。

【岩田議長】 ありがとうございます。それでは、これで今日の会議は閉会といたします。どうもありがとうございました。

(終了)